

医療分野における戦略的な方針

がんを含む慢性疾患は
高齢化とともに増加



*1 GLOBOCAN 2020

デジタルテクノロジー等の
新技術による変化



医師の負担軽減や
コスト削減の可能性

患者さんの個別ニーズに合わせた診療プロセス全体の
最適化への期待(ケア・パスウェイの強化)



医療分野における戦略的な方針(2021年12月発表)

長期の戦略である経営戦略のもと、当社はグローバル・メドテックカンパニーを目指していますが、その実現に向け、医療分野の明確な方向性を発表しました。



Focus

当社が最大限の力を発揮できる疾患である
「消化器科」「泌尿器科」「呼吸器科」に重点的に取り組む



Shape

診療水準を向上させる新たな投資によって、医療の未来を形成する

- シングルユース内視鏡*2の導入、コンピューターによる診断支援技術*2や、クラウドサービス、内視鏡医療全体のワークフロー改善などを統合したソリューションの提供、エンドルミナル治療*2などの技術開発等



Enable

組織のグローバルかつスピーディーな対応力を向上させる

- 研究開発体制やメディカル&サイエンティフィックアフェアーズ(MSA)機能、品質保証・法規制対応機能の強化やコーポレート・ベンチャー・キャピタルの設立等

*2 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

対象疾患における診療水準の向上に貢献し、
患者さんのアウトカムを改善する

注力領域における当社のポジション



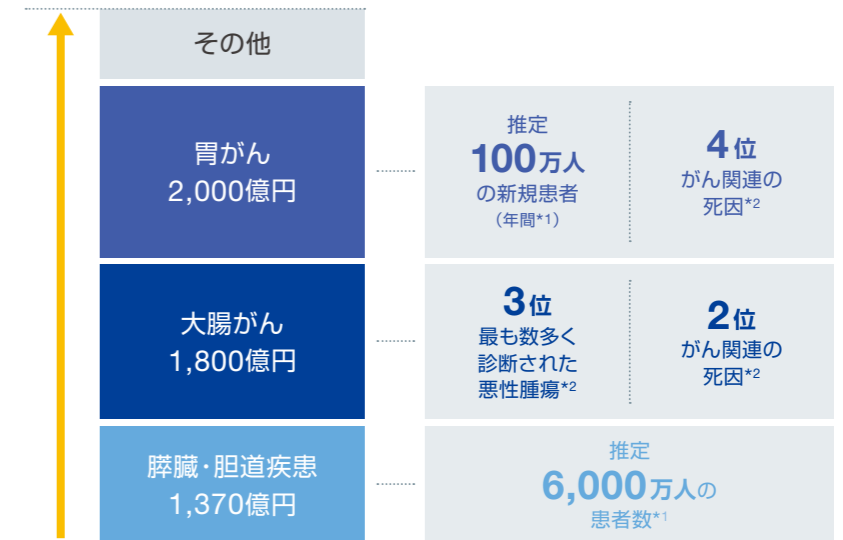
注:本ページに掲載されている対象市場規模と成長率の予想の情報は、当社の調査によるもので、米国、欧州主要5カ国(ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン)、日本、中国に関するものです。市場規模は2021年3月31日時点のものです。成長予想は、2021年3月期を起点として、2022年3月期から2024年3月期までの予想です。他のページに掲載されている市場データについても同様です。内視鏡事業/治療機器事業内のサブセグメントの売上比率は、2022年3月期の数値です

消化器科

疾患別市場規模



6,500億
 消化器科市場合計



代表的なケア・パスウェイ

当社の取り組み **重症化を防ぐための早期発見・早期診断・早期治療**

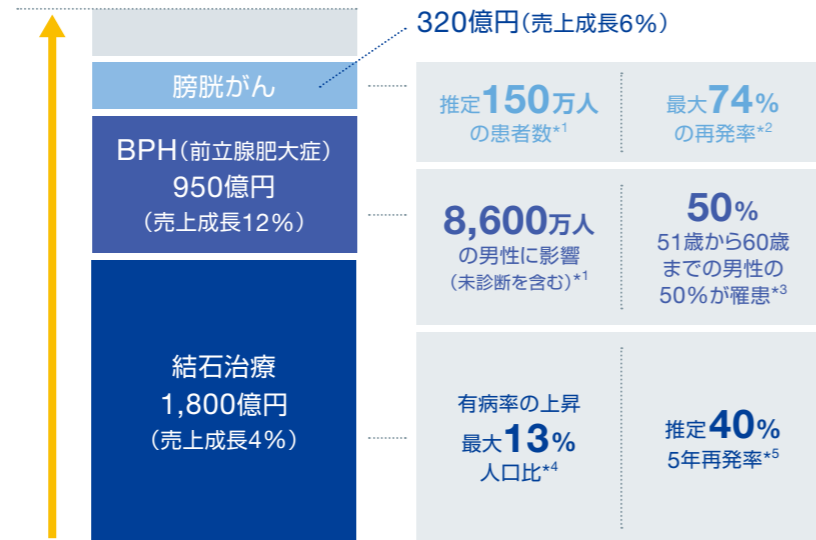
疾患の状況 大腸がん(CRC)は、世界で3番目に多く診断される悪性腫瘍*2であり、がん関連死の第2位の死因となっています*2。さらに2030年までに60%増加し、220万人以上の新規症例と110万人以上の死亡が予想されています*3。現在、世界で5,000万件の大腸内視鏡検査が行われています*4。



*1 出典: Epi Database®, Cerner Enviza. wee.epidb.comから入手可能。2021年11月18日にアクセス。米国、EU主要5カ国、日本、中国の2020年のデータ
 *2 出典: GLOBOCAN 2020
 *3 https://gut.bmj.com, Global patterns and trends in colorectal cancer incidence and mortality, Melina Arnold, Mónica S Sierra, Mathieu Laversanne, Isabelle Soerjomataram, Ahmedin Jemal, Freddie Bray
 *4 当社の調査に基づく。数字は米国、カナダ、EU主要5カ国、日本、中国、韓国、豪、インド、地域により2018年または2019年時点
 *5 CAD: Computer-aided detection
 *6 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております
 *7 Floer M, Blecker E, Fitzlaff R, et al. Higher Adenoma Detection Rates with Endocuff-Assisted Colonoscopy—A Randomized Controlled Multicenter Trial. PLoS ONE. 2014;9(12):e114267

泌尿器科

疾患別市場規模



代表的なケア・パスウェイ

当社の取り組み

すべての患者さんの治療のために必要な治療ソリューションを泌尿器科医に提供する

疾患の状況

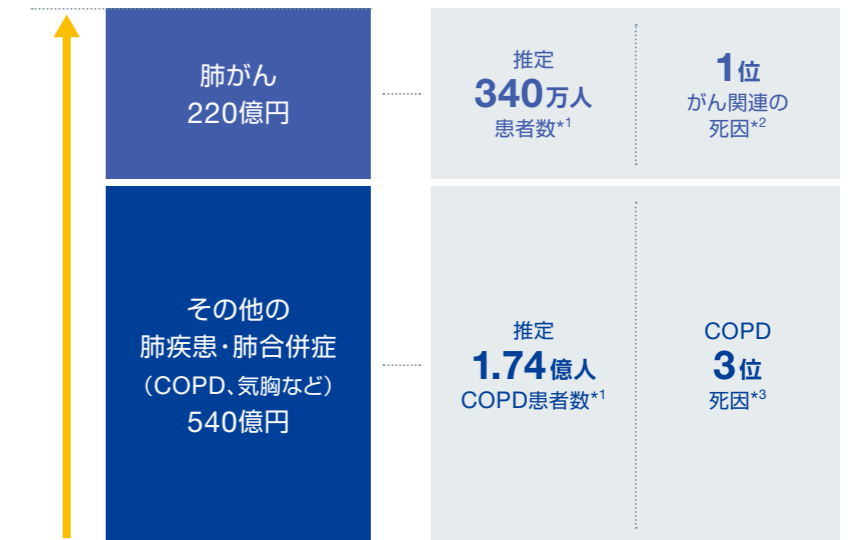
BPHは多くの方が発症する疾患です。症状は軽度から始まりますが、次第に進行し、さまざまな種類の治療が必要となります。



*1 出典: Epi Database®, Cerner Enviza. wee.epidb.comから入手可能。2021年11月18日にアクセス。米国、EU主要5カ国、日本、中国の2020年のデータ
 *2 出典: Recurrence of high-risk bladder cancer: A population-based analysis – Cancer. 2013 Sep 1; 119(17): 3219–3227.
 *3 出典: BPH: surgical management.—Urology Care Foundation website. www.urologyhealth.org. Updated July 2013.
 *4 出典: Epidemiology of stone disease across the world – World J Urol. 2017 Sep;35(9):1301-1320. doi: 10.1007/s00345-017-2008-6.
 *5 出典: Recurrent Nephrolithiasis in Adults: A Comparative Effectiveness Review of Preventive Medical Strategies—Agency for Healthcare Research and Quality (www.effectivehealthcare.ahrq.gov), published online June 15, 2011.
 *6 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

呼吸器科

疾患別市場規模



代表的なケア・パスウェイ

当社の取り組み

新しく画期的な技術を開発することにより、肺がん患者さんの5年生存率の向上に寄与する

疾患の状況

肺がんは、あらゆる種類のがんの中で最も死亡率の高いがんです*2。現在、検診を受けている患者さんの割合はわずかです。ガイドラインで推奨されている診断、病期診断方法であるEBUS-TBNA*4の利用率は依然低いままです。合併症を最小限に抑えながら、疑わしい末梢結節の診断率を最大化することは、依然として重要な課題です。



*1 出典: Epi Database®, Cerner Enviza. Available from wee.epidb.com. 2021年11月18日にアクセス。米国、EU主要5カ国、日本、中国の2020年のデータ
 *2 出典: GLOBOCAN 2020
 *3 出典: World Health Organization
 *4 Endobronchial ultrasound-transbronchial needle aspiration
 *5 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております